

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事

数 量 計 算 書

令和 7 年 7 月

石巻市建設部下水道建設課

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事

【延長総括表】

延長名					単位	備考
	補助工区	補助工区	単独工区	合計		
	推進工法 VP φ 200	開削 PRP φ 200	開削 PRP φ 200			
路線延長	213. 00	115. 00	162. 10	490. 10	m	補助工区 : 328. 00 単独工区 : 162. 10
管渠延長	208. 35	109. 28	157. 21	474. 84	m	補助工区 : 317. 63 単独工区 : 157. 21

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事

数 量 計 算 書（推進工法）

【補助工区】

令和 7 年 7 月

建設部下水道建設課

**西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事
数 量 総 括 表 【補助】**

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
管きょ工 小口径推進	路線延長	推進用硬質塩化ビニル管VPφ200	213.00	213.00	m	
	管渠延長	推進用硬質塩化ビニル管VPφ200	208.35	208.35	m	
	推進延長	推進用硬質塩化ビニル管VPφ200	206.15	206.1	m	
	低耐荷力 泥土圧推進工	No. 643-1～No. 646-1 推進用硬質塩化ビニル管φ200	37.25	37.2	m	
		No. 646-1～No. 646-2 推進用硬質塩化ビニル管φ200	45.25	45.2	m	
		No. 646-2～No. 650-1 推進用硬質塩化ビニル管φ200	57.75	57.7	m	
		No. 646-1～No. 646-2 推進用硬質塩化ビニル管φ200	65.90	65.9	m	
		発生土処理	6.48	6	m ³	
		硬質塩化ビニル管φ200	2.2	2.2	m	
		継手類	1	1	式	
	立坑内 管布設工	推進用可とう継手 既設・組立人孔用 φ200		4	組	
		推進用可とう継手 ケーシング立坑用 φ200		4	組	
		坑口（小口径）	8	8	箇所	
		鏡切り, 鋼製ケーシング	4	4	箇所	推進管部
	仮設備工	推進設備等設置撤去	2	2	箇所	
		推進水替工	1	1	式	
		補助地盤改良工	40	40	本	
	鋼製ケーシング式 土留工及び土工	No. 646-1, No. 650-1 鋼製ケーシングφ2000	2	2	箇所	
		鋼製ケーシング圧入掘削 φ2000	1	1	式	
		底盤コンクリート	1	1	式	
		圧入掘削設備 φ2000	1	1	式	
		鋼製ケーシング存置	1	1	式	
		仮設ケーシング損料等	1	1	式	
		立坑排水	1	1	式	
		排水処理運搬	1	1	式	
		円形覆工板 φ2000, T-25	1	1	式	
		立坑埋戻	20.5	20	m ³	
		発生土処理	36.2	36	m ³	
	組立マンホール工	組立1号マンホール	2	2	箇所	
		組立2号マンホール, 削孔のみ施工	1	1	箇所	
		管上副管 φ150	3	3	箇所	
		内副管 φ100	1	1	箇所	
	沈下構築式 立坑兼用 マンホール工	No. 643-1, No. 646-2 小型コンクリート φ1500	2	2	箇所	
		沈下構築式立坑工	1	1	式	
		組立マンホール設置工	2	2	箇所	
		内副管 φ150	3	3	箇所	
	付帯工	As舗装版切断 t=5cm	41.4	41	m	
		As舗装版破碎 t=5cm	28.2	28	m ²	
		As舗装殻処分	1.4	1	m ³	
		下層路盤 RC-40, t=27cm	24.4	24	m ²	
		表層（仮復旧） 再生密粒度As13, t=3cm	26.2	26	m ²	

1. 管 推 進 工 ($\phi 200$ 低耐荷力方式泥土圧式)

[illegible]

平均延長
51.5375

2. 仮 設 備 工 (φ200低耐荷力方式泥土圧式)												
路線 番号	区 間	管径 mm	坑口工	到達人孔 坑 口 工	推進設備工 箇所	推進設備 据 換 工 方向転換	先導体据付 箇所	先導体撤去 箇所	スクレコンベヤ類 撤 去 工 m	鏡切り工φ200		仮設電気 設 備 箇所
			200	200						小型立坑(鋼製ケーシング)		
			箇所	箇所						上流 箇所	下流 箇所	
643	No.643-1 片到達立坑			1				1				
646	No.646-1 両発進立坑	200							37.25			
			2		1	1	2			1	1	1
646	No.646-2 両到達立坑	200		2				2	45.25			
650	No.650-1 両発進立坑	200							57.75			
			2		1	1	2			1	1	1
既設 652	No.652-1 両到達立坑	200		1				1	65.90			
計			4	4	2	2	4	4	206.15	2	2	2
合計			8		2	2	先導体据付撤去 4			4		2

薬液注入工法 数量計算書(二重管ストレーナー工法 複相式)

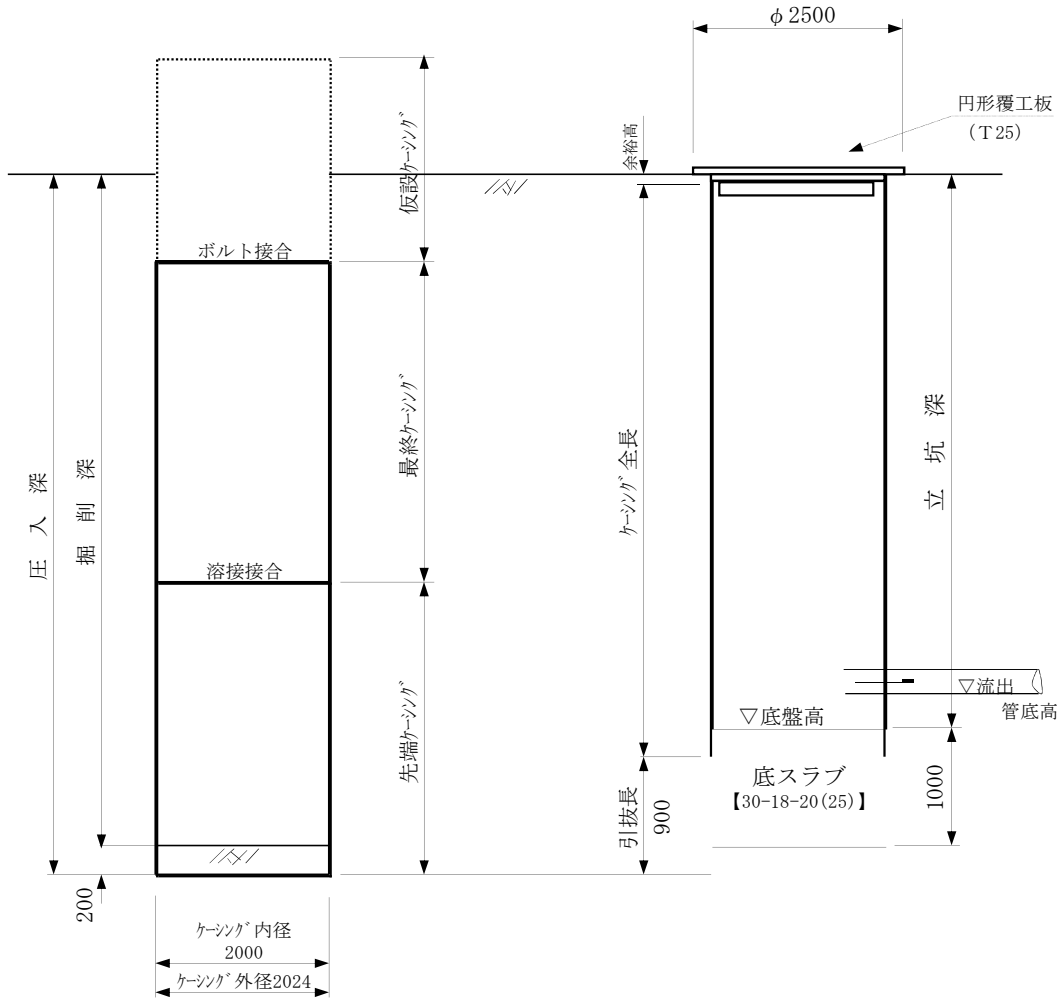
施工箇所	削孔長 L0 m		注入長 L1 m		土被り長 L2=L0-L1 m	注入面積 A ㎡	注入土量 v m ³	注入率 λ %	注入率		注入量 V=L1*A*γ ₁ kl	注入量		注入 本数 本	1本当り 注入量 Qs=V/n ・	1本当り施工時間					1日当り 施工本数 N=60H/Ts*2 本/日	施工 日数 n/N 日
									1次	2次		1次	2次			準備時間 T1 分	削孔時間 T2=L0*γ ₁ 分	注入時間 T3=Qs/q _s 分	引抜時間 T4=γ ₂ *L2 分	計 Ts 分		
	%	%																				
No.643-1 到達立坑 下流	砂礫土		10～30		2.133	5.160								5	1135.2	14.0					H=6.30h 2セット 6.7	0.7
			30～50																			
			0～10					40.5	16.2	24.3												
	砂質土	4.849	10～30	2.716			14.01	40.5	11.6	28.9	5.676	1.626	4.05					24.2				
			0～4																			
	粘性土		4～8																			
	計	4.849	計	2.716			14.014	計		5.676	1.626	4.05					24.2	70.9	4.2	113.3		
No.646-1 両発達立坑 上流	砂礫土		10～30		2.46	5.066								5	1114.4	14.0					H=6.30h 2セット 6.6	0.7
			30～50																			
			0～10					40.5	16.2	24.3												
	砂質土	5.176	10～30	2.716			13.759	40.5	11.6	28.9	5.572	1.596	3.976					25.8				
			0～4																			
	粘性土		4～8																			
	計	5.176	計	2.716			13.759	計		5.572	1.596	3.976					25.8	69.6	4.9	114.3		
No.646-1 両発達立坑 下流	砂礫土		10～30		2.48	5.066								5	1114.4	14.0					H=6.30h 2セット 6.6	0.7
			30～50																			
			0～10					40.5	16.2	24.3												
	砂質土	5.196	10～30	2.716			13.759	40.5	11.6	28.9	5.572	1.596	3.976					25.9				
			0～4																			
	粘性土		4～8																			
	計	5.196	計	2.716			13.759	計		5.572	1.596	3.976					25.9	69.6	4.9	114.4		
No.646-2 両到達立坑 上流	砂礫土		10～30		2.751	5.160								5	1135.2	14.0					H=6.30h 2セット 6.4	0.7
			30～50																			
			0～10					40.5	16.2	24.3												
	砂質土	5.467	10～30	2.716			14.014	40.5	11.6	28.9	5.676	1.626	4.05					27.3				
			0～4																			
	粘性土		4～8																			
	計	5.467	計	2.716			14.014	計		5.676	1.626	4.05					27.3	70.9	5.5	117.7		
No.646-2 両到達立坑 下流	砂礫土		10～30		2.801	5.190								5	1141.8	14.0					H=6.30h 2セット 6.4	0.7
			30～50																			
			0～10					40.5	16.2	24.3												
	砂質土	5.517	10～30	2.716			14.096	40.5	11.6	28.9	5.709	1.635	4.074					27.5				
			0～4																			
	粘性土		4～8																			
	計	5.517	計	2.716			14.096	計		5.709	1.635	4.074					27.5	71.3	5.6	118.4		
No.650-1 両発達立坑 上流	砂礫土		10～30		2.8	5.066								5	1114.4	14.0					H=6.30h 2セット 6.5	0.7
			30～50																			
			0～10					40.5	16.2	24.3												
	砂質土	5.516	10～30	2.716			13.759	40.5	11.6	28.9	5.572	1.596	3.976					27.5				
			0～4																			
	粘性土		4～8																			
	計	5.516	計	2.716			13.759	計		5.572	1.596	3.976					27.5	69.6	5.6	116.7		

薬液注入工法 数量計算書(二重管ストレーナー工法 複相式)

施工箇所	削孔長 L0 m		注入長 L1 m		土被り長 L2=L0-L1 m	注入面積 A ㎡	注入土量 v m³	注入率 λ %	注入率		注入量 V=L1*A* λ kl	注入量		注入 本数 本	1 本当り 注入量 Qs=V/n ・	1 本当り施工時間					1 日当り 施工本数 N=60H/Ts*2 本／日	施工 日数 n/N 日						
									1次	2次		1次	2次			準備時間 T1 分	削孔時間 T2=L0* γ 1 分	注入時間 T3=Qs/qs 分	引抜時間 T4= γ 2*L2 分	計 Ts 分								
	%	%																										
No.650-1 両発進立坑 下流	砂礫土		10～30		2.82	5.066					5.572	1.596	3.976	5	1114.4	14.0	27.6	69.6	5.6	116.8	6.5	0.7						
			30～50																									
	砂質土	5.536	10～30	2.716			13.759	40.5	16.2	24.3													40.5	11.6	28.9	5.572	1.596	3.976
			0～10																									
	粘性土		0～4																									
			4～8																									
計	5.536	計	2.716	13.759	計			5.572	1.596	3.976																		
No.652-1 両到達立坑 上流	砂礫土		10～30		3.423	5.213					5.734	1.642	4.092	5	1146.8	14.0	30.6	71.6	6.8	123.0	6.1	0.8						
			30～50																									
	砂質土	6.139	10～30	2.716			14.158	40.5	16.2	24.3													40.5	11.6	28.9	5.734	1.642	4.092
			0～10																									
	粘性土		0～4																									
			4～8																									
	計	6.139	計	2.716			14.158	計															5.734	1.642	4.092			
											45.083			40														

小型鋼製式（ケーシング）立坑

◎仮設図



埋戻数量（控除前）
埋戻控除数量
埋戻控除数量
埋戻数量（控除後）

◎寸法表

項目	単位	No. 646-1 両発進立坑	No. 650-1 両発進立坑		合計
ケーシング 呼び径	mm	2000 (12)	2000 (12)		
底盤厚	m	1.000	1.000		
引抜長	m	0.900	0.900	ケーシング 引抜長	1.80
舗装厚	m	0.05	0.05		
路盤厚	m	0.25	0.25		
管内径	m	0.20	0.20		
管外径	m	0.216	0.216		
地盤高		1.71	1.66		
流出管底高		-2.476	-2.866		
底盤高		-2.929	-3.319		
流出管底高－底盤高	m	0.453	0.453		
立坑深	m	4.639	4.979		
掘削深	m	5.639	5.979		
圧入深	m	5.839	6.179		
先端ケーシング 長	m	2.900	2.700	ケーシング 1式	5.60
中間ケーシング 長	m			10.10	
最終ケーシング 長	m	2.000	2.500		4.50
仮設ケーシング 長	m	2.000	2.000		
余裕高	m	0.039	0.079		

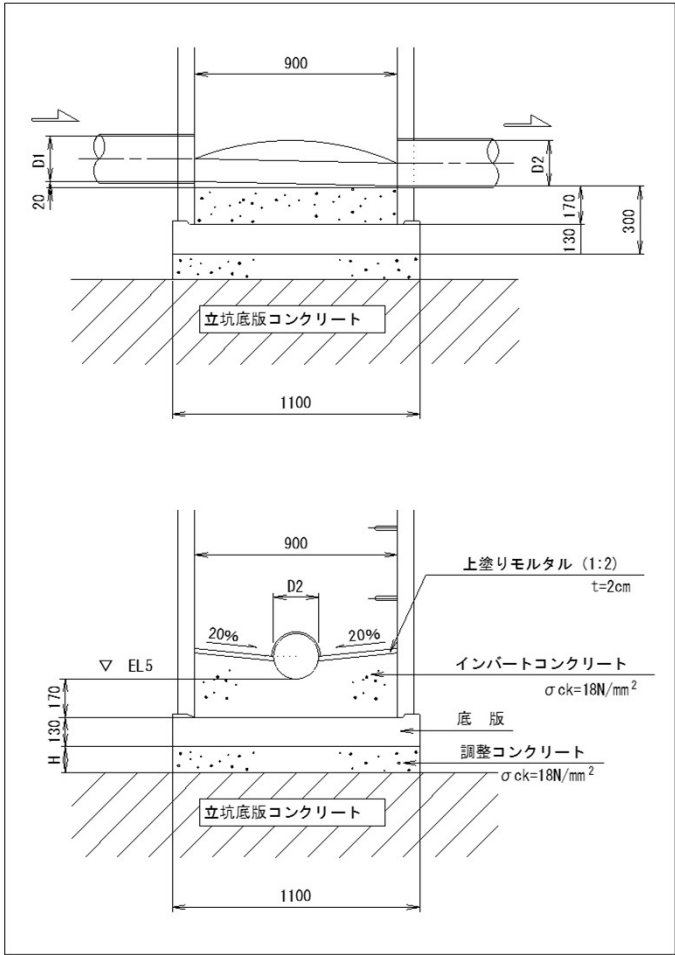
◎数量表

項目	単位	No. 646-1	No. 650-1		合計
掘削深	m	5.589	5.929		11.52
舗装版切断工	m	8.1	8.1	付帯工へ計上	16.19
舗装版取壊工	m ²	4.1	4.1	付帯工へ計上	8.19
ガラ処分工	m ³	0.2	0.2	付帯工へ計上	0.41
路盤工 t=27cm	m ²	2.7	2.7	※φ2.024-φ0.82 付帯工へ計上	5.38
仮復旧, t=3cm	m ²	3.6	3.6	※□2.024-φ0.82 付帯工へ計上	7.14
ケーシング 溶接工	m	6.3	6.3		12.6
底盤コンクリート打設工	m ³	3.1	3.1		6.2
スライム処分工	m ³	1.2	1.2		2.40
〃 (t換算)	t	1.7	1.7		3.36
鏡切工	m	3.2	3.2	推進工へ計上	6.40
ケーシング 切断工	m	12.28	12.28		24.56
スクラップ 重量	t	0.900	0.900		1.80
円形覆工板	箇所	1	1		2
埋戻工 (RC-40)	m ³	13.624	14.692		28.32
マンホール部	m ³	3.719	4.008		7.73
管体部	m ³	0.035	0.035		0.07
埋戻工 (RC-40)	m ³	9.870	10.649		20.52
残土処分工	m ³	17.558	18.626		36.18

組立マンホール員数表

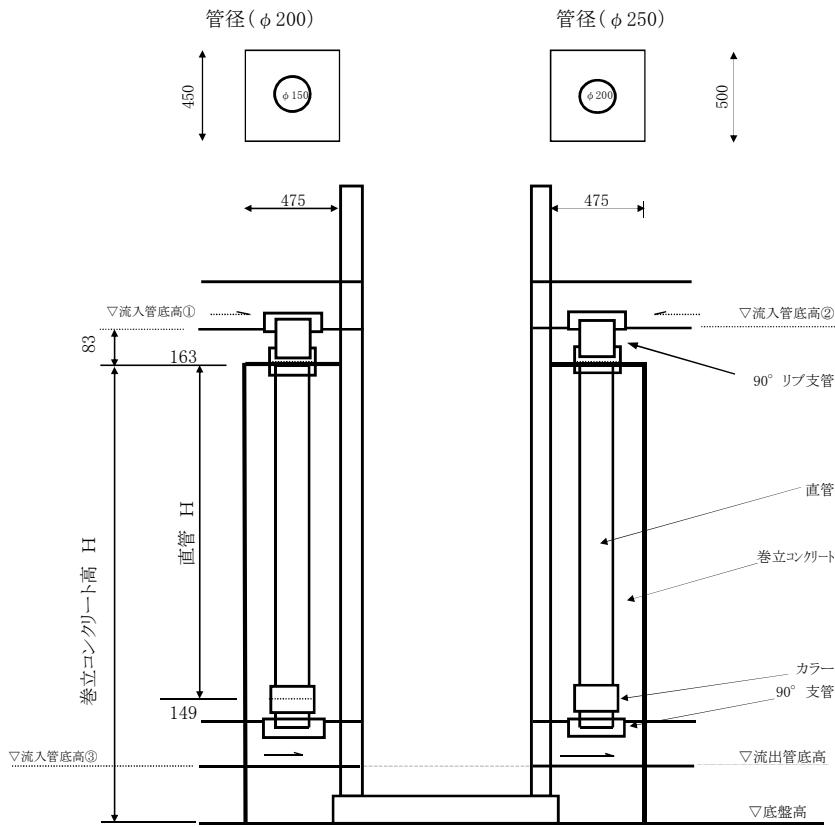
[illegible]

1号組立マンホール底部工



寸法表	マンホール番号	NO. 646-1	NO. 650-1		計
	D1	200	200		
	D2	200	200		
	H	150	150		
数量表	調整コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.143	0.143		0.286
	型枠	0.518	0.518		1.036
	インバートコンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	0.151	0.151		0.302
	モルタル上塗り工 1:2 t=2cm	0.739	0.739		1.478

管 上 副 管 工 (ケーシング部)



寸	人孔番号	NO.646-1		計	
	路線番号	S646			
法	流入管底高①	-0.911			m
	流入管底高②				m
表	流入管底高③	-2.456			m
	流出管底高				m
数	底盤高	-2.929			m
	巻立Co高	1.935			m
量	直管 H	0.659			m
	型枠	1.83	1.83		m ²
表	コンクリート打設	0.41	0.41		m ³
	90° リブ支管	1	1		個
表	90° 支管	1	1		個
	カラー	2	2		個
表	直管(VU φ 150)	0.16	0.16		本
	15度自在曲管	2	2		個

寸	人孔番号	NO.650-1		計	
	路線番号	S650	A650		
法	流入管底高①	-0.350			m
	流入管底高②		0.297		m
表	流入管底高③	-2.846			m
	流出管底高		-2.866		m
数	底盤高	-3.319	-3.319		m
	巻立Co高	2.886	3.533		m
量	直管 H	1.610	2.655		m
	型枠	2.74	3.35	6.09	m ²
表	コンクリート打設	0.61	0.75	1.36	m ³
	90° リブ支管	1	1	2	個
表	90° 支管	1	1	2	個
	カラー	2	2	4	個
表	直管(VU φ 150)	0.40	0.66	1.06	本
	15度自在曲管	2	0	2	個

数	型枠	7.92	m ²
	コンクリート打設	1.77	m ³
量	90° リブ支管	3	個
	90° 支管	3	個
計	カラー	6	個
	直管(VU φ 150)	1.22	本
表	15度自在曲管	4	個

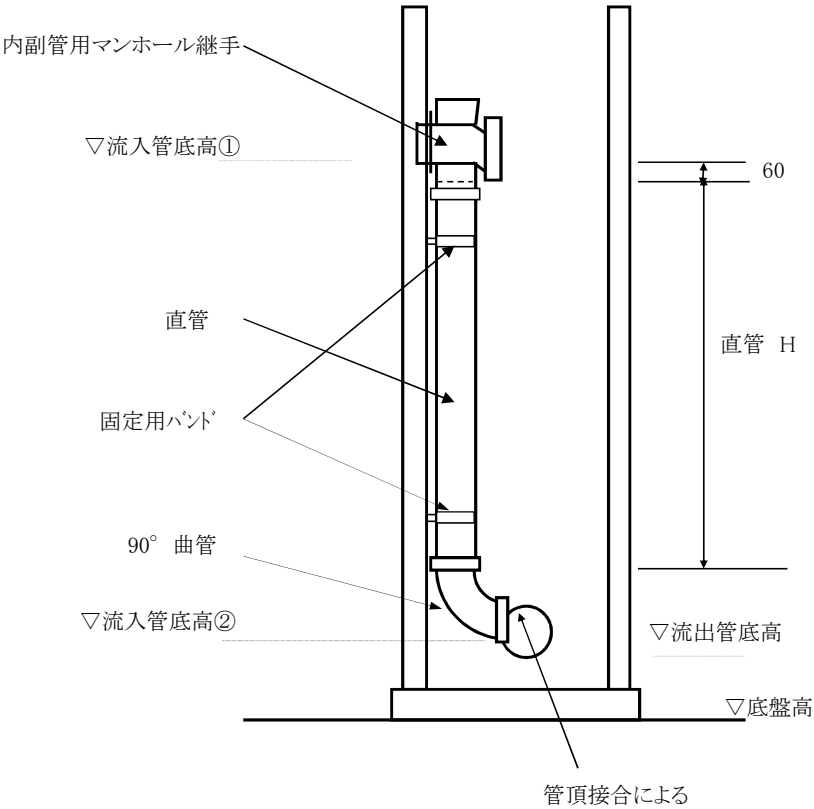
寸	人孔番号			計	
	路線番号				
法	流入管底高①				m
	流入管底高②				m
表	流入管底高③				m
	流出管底高				m
数	底盤高				m
	巻立Co高				m
量	直管 H				m
	型枠				m ²
表	コンクリート打設				m ³
	90° リブ支管				個
表	90° 支管				個
	カラー				個
表	直管(VU φ 150)				本

寸	人孔番号			計	
	路線番号				
法	流入管底高①				m
	流入管底高②				m
表	流入管底高③				m
	流出管底高				m
数	底盤高				m
	巻立Co高				m
量	直管 H				m
	型枠				m ²
表	コンクリート打設				m ³
	90° リブ支管				個
表	90° 支管				個
	カラー				個
表	直管(VU φ 150)				本

管外径 (φ 200)	216 mm	管内径 (φ 200)	196 mm
管外径 (φ 250)	267 mm	管内径 (φ 250)	241 mm
15° 曲管標準延長	480 mm		

内 副 管 工（副管径150mm&100mm）

◎構造図



人 孔 番 号	NO.643-1	NO.646-2	NO.646-2	計
路 線 番 号	642	S646-2	A646-2	
流 出 管 底	-2.339	-2.667	-2.667	
流 入 管 底 ①	-0.488	0.451	-0.352	
流 入 管 底 ②	-2.289	-2.617	-2.617	
副 管 高	1.851	3.118	2.315	
内副管用継手	1	1	1	3 個
直 管 (VU150)	0.3	0.7	0.5	1.5 本
90 ° 曲 管	1	1	1	3 個
固 定 バンド	1	2	2	5 個

人 孔 番 号	NO.650-1			計
路 線 番 号	S650			
流 出 管 底	-2.866			
流 入 管 底 ①	-0.466			
流 入 管 底 ②	-2.816			
副 管 高	2.4			
内副管用継手	1			1 個
直 管 (VU100)	0.5			0.5 本
90 ° 曲 管	1			1 個
固 定 バンド	2			2 個

[illegible]

小型コンクリート製（沈下構築式）

工 種	No.643-1 到達立坑 数量計算書	数 量	備 考
沈設立坑	No.643-1 到達立坑 呼び径 1500 mm 覆土工有り		
舗装版切断	t=5cm L = 3.16×4 =	12.6 m	付帯工へ計上
As舗装破碎	t=5cm A = 3.16 × 3.16 =	10.0 m ²	付帯工へ計上
As殻処理	V = 10.0 × 0.05 =	0.50 m ³	付帯工へ計上
1次掘削積込工	V = 3.16 × 3.16 × 0.85 = 8.49 V = $\pi/4$ × 2.00 ² × 0.6 = 1.88 =	10.37 m ³	
沈設スリーブ工	φ 2000 t=2.7 =	1 箇所	
沈下掘削積込み工 （二次掘削）	φ 1500 , 二次掘削深	3.089 m	
二次掘削積込工	V = $\pi/4$ × 1.88 ² × 3.089 = 8.57 =	8.57 m ³	
残土処分工	V = 10.37 + 8.57 =	18.9 m ³	
ブロック溶接接続工	L = 1.7 × 2 箇所 =	3.40 m	
滑材注入工	V = 0.29 m ³ /m × 2.939 =	0.85 m ³	
底盤工 底盤グラウト注入	V = 0.130 m ³ =	0.130 m ³	
コンクリート製ブロック 刃口	H = 0.30 m =	1 個	
沈設ブロック	H = 2.00 m = H = 1.40 m =	1 個 個	
増設ブロック	H = 1.00 m =	1 個	
床版	H = 0.28 m =	1 個	
底盤ブロック	H = 0.45 m =	1 個	
碎石埋戻し	① V = $\pi/4$ × 0.82 ² × 0.100 = 0.05 ② V = $\pi/4$ × ((0.82+1.14)/2) ² × 0.76 = 0.57 ③ V = $\pi/4$ × 1.140 ² × 0.300 = 0.31 ④ V = $\pi/4$ × 1.780 ² × 0.340 = 0.85 ①+②+③+④ = 1.78 10.37 - 1.78 =	8.6 m ³	
調整コンクリート工	V = $\pi/4$ × 1.50 ² × 0.300 = 0.53	0.53 m ³	
目地	L = 4.71 m/n × 2 =	9.42 m	
ステップ	梯子式 FRP製(付属品) =	2.2 m	

工 種	計 算 式	数 量	備 考
沈設立坑	No.643-1 到達立坑 呼び径 1500 mm 覆土工あり		
沈下防止治具	ϕ 1500用	= 1 式	
振れ止め治具	ϕ 1500用	= 1 式	
組立マンホールブロック 斜壁	H = 0.60 m ϕ 600- ϕ 900	= 1 個	
直壁	H = 0.30 m ϕ 900	= 1 個	
連結直壁	H = 0.30 m ϕ 900	= 個	
調整リング	H = 0.05 m ϕ 600	= 個	
	H = 0.10 m ϕ 600	= 1 個	
	H = 0.15 m ϕ 600	= 個	
鉄蓋	ϕ 600(ロック付梯子) T-25	= 1 個	
調整金具	H = 45 mm	= 1 個	
調整モルタル	無収縮モルタル	= 0.01 m ³	
覆工板 受桁(リース材)	H-300*300*10*15 W = 94.0 Kg/m \times 6.0	= 0.6 t	
舗装止め	C-200*80*7.5 W = 24.6 Kg/m \times 12.0	= 0.3 t	
ライナープレート (設置、取り除き)	ϕ = 2000 mm W = 0.234 t/m \times 1.00	= 1.00 m = 0.234 t	
覆工面積	A = 3.00 \times 3.00	= 9.0 m ²	
ガイドコンクリート	V = 3.00 \times 3.00 \times 0.30 = 2.70 V = $\pi/4$ \times 2.00 ² \times 0.30 = -0.94 = 1.8 m ³		
ガイドコンクリート型枠	A = 3.00 \times 0.30 \times 4.00	= 3.6 m ²	
基礎碎石 (RC-40、t=10cm)	V = 3.00 \times 3.00 = 9.00 V = $\pi/4$ \times 2.00 ² = -3.14 = 5.86 m ²		
舗装仮復旧 (t=3cm)	A = 3.16 \times 3.16 - $\pi/4$ \times 0.82 ² =	9.5 m ²	付帯工へ計上
路盤工 (t=27cm)	A = 3.16 \times 3.16 - $\pi/4$ \times 0.82 ² =	9.5 m ²	付帯工へ計上

小型コンクリート製（沈下構築式）

工 種	No.646-2 両到達立坑 数量計算書	数 量	備 考
沈設立坑	No.646-2 両到達立坑 呼び径 1500 mm 覆土工有り		
舗装版切断	t=5cm L = 3.16×4 =	12.6 m	付帯工へ計上
As舗装破碎	t=5cm A = 3.16 × 3.16 =	10.0 m ²	付帯工へ計上
As殻処理	V = 10.0 × 0.05 =	0.50 m ³	付帯工へ計上
1次掘削積込工	V = 3.16 × 3.16 × 0.85 = 8.49 V = $\pi/4$ × 2.00 ² × 0.6 = 1.88 =	10.4 m ³	
沈設スレーヅ工	φ 2000 t=2.7 =	1 箇所	
沈下掘削積込み工 （二次掘削）	φ 1500 , 二次掘削深	3.757 m	
二次掘削積込工	V = $\pi/4$ × 1.88 ² × 3.757 = 10.43 =	10.4 m ³	
残土処分工	V = 10.37 + 10.43 =	20.8 m ³	
ブロック溶接接続工	L = 1.7 × 3 箇所 =	5.10 m	
滑材注入工	V = 0.29 m ³ /1m × 3.607 =	1.05 m ³	
底盤工 底盤グラウト注入	V = 0.130 m ³ =	0.130 m ³	
コンクリート製ブロック 刃口	H = 0.30 m =	1 個	
沈設ブロック	H = 2.00 m = H = 1.40 m =	個 3 個	
増設ブロック	H = 1.00 m =	個	
床版	H = 0.28 m =	1 個	
底盤ブロック	H = 0.45 m =	1 個	
碎石埋戻し	① V = $\pi/4$ × 0.82 ² × 0.100 = 0.05 ② V = $\pi/4$ × ((0.82+1.14)/2) ² × 0.53 = 0.4 ③ V = $\pi/4$ × 1.140 ² × 0.000 = 0.00 ④ V = $\pi/4$ × 1.780 ² × 0.870 = 2.16 ①+②+③+④ = 2.61 10.37 - 2.61 =	7.8 m ³	
調整コンクリート工	V = $\pi/4$ × 1.50 ² × 0.300 = 0.53	0.53 m ³	
目地	L = 4.71 m/n × 3 =	14.13 m	
ステップ	梯子式 FRP製(付属品) =	3.4 m	

工 種	計 算 式	数 量	備 考
沈設立坑	No.646-2 両到達立坑 呼び径 1500 mm 覆土工あり		
沈下防止治具	$\phi 1500$ 用 =	1 式	
振れ止め治具	$\phi 1500$ 用 =	1 式	
組立マンホールブロック 斜壁	H = 0.45 m $\phi 600$ - $\phi 900$ =	1 個	
直壁	H = 0.30 m $\phi 900$ =	個	
連結直壁	H = 0.30 m $\phi 900$ =	個	
調整リング	H = 0.05 m $\phi 600$ =	1 個	
	H = 0.10 m $\phi 600$ =	個	
	H = 0.15 m $\phi 600$ =	個	
鉄蓋	$\phi 600$ (ロック付梯子) T-25 =	1 個	
調整金具	H = 25 mm =	1 個	
調整モルタル	無収縮モルタル =	0.01 m ³	
覆工板 受桁(リース材)	H-300*300*10*15 W = 94.0 Kg/m \times 6.0 =	0.6 t	
舗装止め	C-200*80*7.5 W = 24.6 Kg/m \times 12.0 =	0.3 t	
ライナープレート (設置、取り除き)	$\phi = 2000$ mm = W = 0.234 t/m \times 1.00 =	1.00 m 0.234 t	
覆工面積	A = 3.00 \times 3.00 =	9.0 m ²	
ガイドコンクリート	V = 3.00 \times 3.00 \times 0.30 = 2.70 V = $\pi/4 \times 2.00^2 \times 0.30$ = -0.94 =	1.8 m ³	
ガイドコンクリート型枠	A = 3.00 \times 0.30 \times 4.00 =	3.6 m ²	
基礎碎石 (RC-40、t=10cm)	V = 3.00 \times 3.00 = 9.00 V = $\pi/4 \times 2.00^2$ = -3.14 =	5.86 m ²	
舗装仮復旧 (t=3cm)	A = 3.16 \times 3.16 - $\pi/4 \times 0.82^2$ =	9.5 m ²	付帯工へ計上
路盤工 (t=27cm)	A = 3.16 \times 3.16 - $\pi/4 \times 0.82^2$ =	9.5 m ²	付帯工へ計上

工 帶 付

[illegible]

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事

数 量 計 算 書（開削工法）

【補助工区】

令和 7 年 7 月

建設部下水道建設課

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事
数 量 総 括 表 (1/2) 【補助】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
路線延長	PRP φ 200	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	115.00	115.00	m	
管渠延長	PRP φ 200	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	109.28	109.28	m	
管路土工	管路掘削	機械掘削 BH0.28m ³ (山積)	206.2	206	m ³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 基礎材 管周り+管頂10cm	27.8	27	m ³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 埋戻材	127.0	127	m ³	
	発生土処理	土砂 4 t 積 BH0.28m ³ 運搬距離 L=3.5km	206.2	206	m ³	
管布設工	リブ付硬質 塩化ビニル管	φ 200 L=4.0m/本	109.28	109.2	m	
	継手類	リブ用可とう継手 φ 200	12	12	個	本管部
		可とう継手 (塩ビ管用) φ 150mm	8	8	個	取付管部
	埋設標識テープ	下水道用W=150 シングル	109.28	109	m	
	鏡切り工	鋼製ケーシング	2	2	箇所	1.6m/箇所
管基礎工	砕石基礎	再生砕石RC-40 管下t=10cm 掘削幅W=100cm	109.28	109.2	m	
管路土留工	建込簡易土留	建込み長 H=1.50m	54.0	54	m	
		建込み長 H=2.00m	-	-	m	
		建込み長 H=2.50m	34.0	34	m	
		建込み長 H=3.00m	27.0	27	m	
		建込み長 H=3.50m	-	-	m	
地下水位低下工	ウェルポイント		1	1	式	
組立マンホール工	組立0号マンホール	内径750mm	4	4	箇所	
		マンホール深 2m以下	2	2	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下	2	2	箇所	
		マンホール深 3m超～5m以下	-	-	箇所	
	組立1号マンホール	内径900mm	2	2	箇所	
		マンホール深 2m以下	-	-	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下	2	2	箇所	
		マンホール深 3m超～4m以下	-	-	箇所	
取付管土工	管路掘削	機械掘削 BH0.13m ³ (山積)	29.7	29	m ³	
	管路埋戻	砕砂 基礎材	9.6	9	m ³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 埋戻材	10.9	10	m ³	
	発生土処理	土砂 2 t 積 BH0.13m ³ 運搬距離 L=3.5km	29.7	29	m ³	
ます設置工	ます	ます径200mm	14	14	箇所	

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事
数 量 総 括 表 (2/2) 【補助】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
取付管布設工	取付管	塩ビ管 φ 150mm	9	9	箇所	
		延長 (L) L<3.0m	-	-	箇所	
		延長 (L) 3.0m≤L<5.0m	1	1	箇所	
		延長 (L) 5.0m≤L<12.0m	8	8	箇所	
取付管推進工	取付管水平推進	さや管推進工法	5	5	箇所	
	発生土処理	土砂 2 t 積 BH0.13m ³ 運搬距離 L=3.5km	0.6	1	m ³	
立坑工	軽量鋼矢板立坑		5	5	箇所	
付帯工	舗装撤去工	As舗装版切断 t=5cm	313.8	310	m	
		舗装版破碎 t=5cm	150.4	150	m ²	
		As舗装殻処分	7.1	7	m ³	
	路盤工	再生碎石RC-40 t=27cm	150.4	150	m ²	
	舗装仮復旧工	再生密粒度As13	150.4	150	m ²	
		t=3cm 1.4>b				

土工及び管布設工数量計算書 (その2) 【補助】

[illegible]

組立0号マンホール数量集計表【補助】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
組立0号マンホール	組立マンホール工	マンホール深 2m以下	2	2	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下	2	2	箇所	
		マンホール深 3m超～5m以下			箇所	
		組立0号マンホール	4	4	箇所	
	マンホール用鉄蓋	T-25				
		φ 600	4	4	個	
		T-25				
		φ 600 スリップ防止型			個	
	ロック付梯子	0号マンホール	2	2	個	H=2.00m以上
	調整金具		4	4	個	
	調整リング	組立0号マンホール 5cm	1	1	個	
		組立0号マンホール 10cm	3	3	個	
		組立0号マンホール 15cm			個	
	斜壁ブロック	組立0号マンホール 30cm			個	
		組立0号マンホール 45cm			個	
		組立0号マンホール 60cm	4	4	個	
	直壁ブロック	組立0号マンホール t=30cm			個	
		組立0号マンホール t=60cm			個	
		組立0号マンホール t=90cm			個	
		組立0号マンホール t=120cm			個	
		組立0号マンホール t=150cm			個	
	躯体ブロック	組立0号マンホール 60cm	2	2	個	
		組立0号マンホール 90cm			個	
		組立0号マンホール 120cm			個	
		組立0号マンホール 150cm	1	1	個	
		組立0号マンホール 180cm	1	1	個	
	底版ブロック	組立0号マンホール	4	4	個	
	削孔	φ 150mm	4	4	箇所	取付管
		φ 200mm			箇所	本管
	底部工 (1箇所当り)	基礎碎石 t=20cm				
		RC-40	0.22	0.22	m3	
		インバートコンクリート BB-18-8-40 (高炉)	0.10	0.10	m3	
		モルタル上塗り工 1:2 t=2cm	0.53	0.53	m2	

組立1号マンホール数量集計表【補助】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
組立1号マンホール	組立マンホール工	マンホール深 2m以下			箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下	2	2	箇所	
		マンホール深 3m超～4m以下			箇所	
		組立1号マンホール	2	2	箇所	
	マンホール用鉄蓋	T-25 φ 600	2	2	個	
	ロック付梯子		2	2	個	H=2.00m以上
	調整金具	1号マンホール	2	2	個	
	調整リング	1号マンホール t=5cm			個	
		1号マンホール t=10cm	2	2	個	
		1号マンホール t=15cm			個	
	斜壁ブロック	1号マンホール t=30cm			個	
		1号マンホール t=45cm	1	1	個	
		1号マンホール t=60cm	1	1	個	
	直壁ブロック	1号マンホール t=30cm			個	
		1号マンホール t=60cm			個	
		1号マンホール t=90cm	1	1	個	
		1号マンホール t=120cm			個	
		1号マンホール t=150cm			個	
		1号マンホール 60cm			個	
		1号マンホール 90cm			個	
	躯体ブロック	1号マンホール 120cm	1	1	個	
		1号マンホール 150cm	1	1	個	
		1号マンホール 180cm			個	
		1号マンホール			個	
	底板ブロック	1号マンホール	2	2	個	
	削孔	φ 150mm用	1	1	個	取付管
		φ 200mm用	1	1	箇所	本管
	底部工 (1箇所当り)	基礎碎石 t=20cm				
		RC-40	0.29	0.29	m3	
		インバートコンクリート BB-18-8-40 (高炉)	0.15	0.15	m3	
		モルタル上塗り工 1:2 t=2cm	0.74	0.74	m2	

組立マンホール員数表【補助】

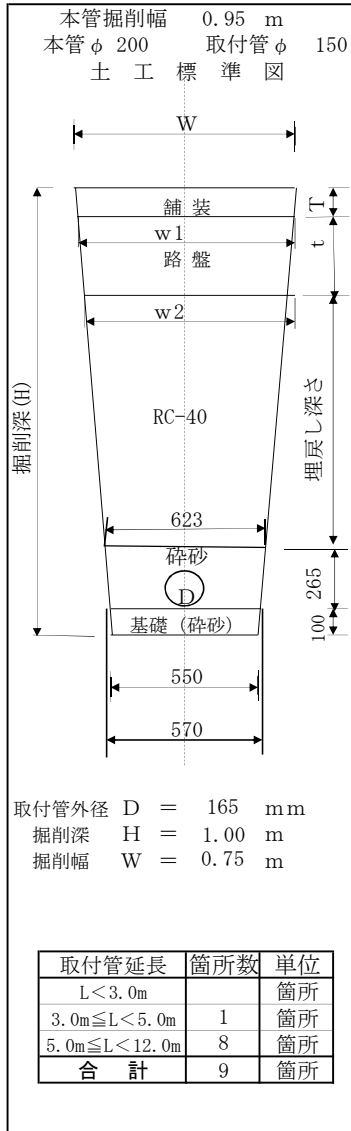
[illegible]

汚水枡および取付管 数量集計表【補助】

路線番号	取付戸数	取付総延長	掘削延長	土 工				碎石防護シート	備 考
				掘削土量	基礎材(砕砂)	埋戻し材(RC-40)	発生土処分		
	個	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	枚	
S646, S646-2, S650, A650 路線	9	55.4	50.9	29.7	9.6	10.9	29.7	18	(BH0.13m3)
S646, S646-2, S650 650, 643路線	5	取付管推進工数量表参照							
合計	14	55.4	50.9	29.7	9.6	10.9	29.7	18	
設計数量	14	55	50	29	9	10	29	18	

取付管延長	S646, S646-2, S650, A650 路線	S646, S646-2, S650 650, 643路線	合計	汚水枡設置個数合計	
L<3.0m	0		0 箇所	0	箇所
3.0m≤L<5.0m	1		1 箇所	1	箇所
5.0m≤L<12.0m	8		8 箇所	8	箇所
取付管工	9		9 箇所	9	箇所
取付管推進工		5	5 箇所	5	箇所
合 計	9	5	14 箇所	14	箇所

汚 水 枳 取 付 管 計 算 書 【補助】



路線 番号		取 付 戸 数 個	土 工 諸 元				土 工													管 材 料 (φ150)					管材料 (φ150, φ200)			立 上 り 管 本
			w1 m	w2 m	表 層 厚 m	路 盤 厚 m	取 付 総 延 長 m	取 付 延 長 m/ヶ所	側 溝 控 除 m×1ヶ所	舗 装 版 切 断 m	舗 装 版 破 碎 m²	A S 殻 処 理 m³	路 盤 工 t=27cm m²	表 層 工 m²	掘 削 延 長 m	掘 削 土 量 m³	基 礎 材 (砕砂) m³	埋 戻 し 材 (RC40) m³	発 生 土 処 分 m³	管 直 管 本	75° 曲 管 本	自 在 曲 管 本	汚 水 樹 個	蓋 個	砕 石 防 護 シ ート 枚	防 護 ハ ット 個	止 水 キ ャ ップ 個	
S646	L																											
	R	1	0.74	0.69	0.05	0.25	5.5	5.5	0.52	8.0	4.1	0.21	4.1	4.1	5.0	2.9	0.9	1.0	2.9	1.3	1	1	1	1	2			0.1
	計	1					5.5	5.5		8.0	4.1	0.21	4.1	4.1	5.0	2.9	0.9	1.0	2.9	1.3	1	1	1	1	2			0.1
S646-2	L																											
	R	3	0.74	0.69	0.05	0.25	20.3	6.8	0.52	31.6	15.2	0.76	15.2	15.2	18.8	11.0	3.6	4.1	11.0	5.0	3	3	3	3	6			0.4
	計	3					20.3	6.8		31.6	15.2	0.76	15.2	15.2	18.8	11.0	3.6	4.1	11.0	5.0	3	3	3	3	6			0.4
A646-2	L																											
	R																											
	計																											
S650	L																											
	R	1	0.74	0.69	0.05	0.25	5.9	5.9	0.52	8.8	4.0	0.20	4.0	4.0	5.4	3.1	1.0	1.1	3.1	1.4	1	1	1	1	2		0.1	
	計	1					5.9	5.9		8.8	4.0	0.20	4.0	4.0	5.4	3.1	1.0	1.1	3.1	1.4	1	1	1	1	2		0.1	
A650	L	3	0.74	0.69	0.05	0.25	19.8	6.6	0.52	30.6	15.0	0.75	15.0	15.0	18.3	10.7	3.5	4.0	10.7	4.9	3	3	3	3	6		0.4	
	R	3																										
	計	3					19.8	6.6		30.6	15.0	0.75	15.0	15.0	18.3	10.7	3.5	4.0	10.7	4.9	3	3	3	3	6		0.4	
643	L	1	0.74	0.69	0.05	0.25	3.9	3.9	0.52	4.8	3.0	0.15	3.0	3.0	3.4	2.0	0.6	0.7	2.0	0.9	1	1	1	1	2		0.1	
	R	1																										
	計	1					3.9	3.9		4.8	3.0	0.15	3.0	3.0	3.4	2.0	0.6	0.7	2.0	0.9	1	1	1	1	2		0.1	
	L																											
	R																											
	計																											
	L																											
	R																											
	計																											
	L																											
	R																											
	計																											
合 計	L	9					55.4			83.8	41.3	2.1	41.3	41.3	50.9	29.7	9.6	10.9	29.7	13.5	9	9	9	9	18			1.1
	R																											

取付管推進数量集計表【補助】

[illegible]

付帯工 数量集計表【補助】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
舗装撤去工	舗装版切断	アスファルト舗装版, t=15cm以下	313.8	310	m	
	舗装版破碎	アスファルト舗装版, t=15cm以下	150.4	150	m ²	
	殻運搬処理	アスファルト舗装版	7.1	7	m ³	
舗装復旧工	不陸整正	補充材あり t=3cm			m ²	
		補充材なし			m ²	
	路盤工	t=27cm	150.4	150	m ²	
		t=10cm			m ²	
	表層工 (仮復旧)	再生密粒度AS13 t=3cm	150.4	150	m ²	
	(本復旧)	再生密粒度AS20F t=5cm 1.4≤b			m ²	
区画線工	区画線設置工	溶融式 白色・実線 W=15cm			m	
		溶融式 白色・破線 W=15cm			m	
		溶融式 実線・ゼブラ W=45cm			m	
		溶融式 破線 W=46cm			m	
		溶融式 矢印・記号・文字			m	
側溝撤去・設置工		側溝撤去・設置			m	

付帯工数量計算書【補助】

[illegible]

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事

数 量 計 算 書（開削工法）

【単独工区】

令和 7 年 7 月

建設部下水道建設課

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事
数 量 総 括 表 (1/2) 【単独】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
路線延長	PRP φ 200	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	162.10	162.10	m	
管渠延長	PRP φ 200	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	157.21	157.21	m	
管路土工	管路掘削	機械掘削 BH0.28m ³ (山積)	231.2	231	m ³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 基礎材 管周り+管頂10cm	40.2	40	m ³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 埋戻材	125.4	125	m ³	
	発生土処理	土砂 4 t 積 BH0.28m ³ 運搬距離 L=3.5km	231.2	231	m ³	
管布設工	リブ付硬質 塩化ビニル管	φ 200 L=4.0m/本	157.21	157.2	m	
	継手類	リブ用可とう継手 φ 200	10	10	個	本管部
		可とう継手 (塩ビ管用) φ 150mm	3	3	個	取付管部
	埋設標識テープ	下水道用W=150 シングル	157.21	157	m	
管基礎工	砕石基礎	再生砕石RC-40 管下t=10cm 掘削幅W=100cm	157.21	157.2	m	
管路土留工	建込簡易土留	建込み長 H=1.50m	106	106	m	
		建込み長 H=2.00m	56	56	m	
地下水位低下工	ウェルポイント		1	1	式	
組立マンホール工	組立0号マンホール	内径750mm	3	3	箇所	
		マンホール深 2m以下	3	3	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下	-	-	箇所	
		マンホール深 3m超～5m以下	-	-	箇所	
	組立1号マンホール	内径900mm	2	2	箇所	
		マンホール深 2m以下	2	2	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下	-	-	箇所	
		マンホール深 3m超～4m以下	-	-	箇所	
	組立1号マンホール	内径900mm, インバートのみ施工	1	1	箇所	
レジン製小型マンホール		内径300mm	1	1	箇所	
取付管土工	管路掘削	機械掘削 BH0.13m ³ (山積)	20.0	20	m ³	
	管路埋戻	砕砂 基礎材	6.3	6	m ³	
	管路埋戻	再生砕石RC-40 埋戻材	7.3	7	m ³	
	発生土処理	土砂 2 t 積 BH0.13m ³ 運搬距離 L=3.5km	20.0	20	m ³	
ます設置工	ます	ます径200mm	12	12	箇所	
取付管布設工	取付管	塩ビ管 φ 150mm	12	12	箇所	
		延長 (L) L<3.0m	2	2	箇所	
		延長 (L) 3.0m≤L<5.0m	10	10	箇所	
		延長 (L) 5.0m≤L<12.0m	-	-	箇所	

西流下 2 号門脇 2 号準幹線築造工事
数 量 総 括 表 (2/2) 【単独】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
付帯工	舗装撤去工	As舗装版切断 t=5cm	371.1	370	m	
		舗装版破碎 t=5cm	183.9	180	m ²	
		As舗装殻処分	8.8	9	m ³	
	路盤工	再生碎石RC-40 t=27cm	183.9	184	m ²	
	舗装仮復旧工	再生密粒度As13 t=3cm 1.4>b	183.9	184	m ²	

土工及び管布設工数量計算書（その1）【単独】

[illegible]

土工及び管布設工数量計算書 (その2) 【単独】

路線 番号	人 孔 番 号		管 径	路 線 延 長	管 渠 延 長	掘 削 深				掘削工	管 布 設 工				基礎工	埋 戻 工		発 生 土 処 分 C m³	土 留 工										備 考	
	上	下				掘 削 幅	上 流 側	下 流 側	平均 掘削 深	機 械 掘 削 (H-t) *W*L m³ (C)	リ ブ 付 直 管 (4.0m) 本	可 上 流 リ ブ 手 用	可 下 流 リ ブ 手 用	可 リ ブ 用 手 合 計 本	砕 石 基 礎 工 t=0.1m m	(基 礎 材 再 生 砕 石) 管頂 10cm m³	(埋 戻 材 再 生 砕 石) m³		建 込 簡 易 土 留 H=1.5m m	建 込 簡 易 土 留 H=2.0m m	建 込 簡 易 土 留 H=2.5m m	建 込 簡 易 土 留 H=3.0m m	建 込 簡 易 土 留 H=3.5m m	軽 量 鋼 矢 板 H=1.5m m	軽 量 鋼 矢 板 H=2.0m m	軽 量 鋼 矢 板 H=2.5m m	軽 量 鋼 矢 板 H=3.0m m			
	流 側	流 側																												
	No.	No.																												
	No.	No.	mm	m (L)	m (L')	m (W)	m	m	m (H)	m³ (C)	本	上 流 本	下 流 本	合 計 本	t=0.1m m	10cm m³	m³	C m³	H=1.5m m	H=2.0m m	H=2.5m m	H=3.0m m	H=3.5m m	H=1.5m m	H=2.0m m	H=2.5m m	H=3.0m m			
731-1	731-1-1	731-1-2	200	44.00	43.47	0.95	1.336	1.518	1.427	57.5	10.8	1		1	43.47	11.1	29.7	57.5	44.00											
731-1	731-1-2	731-3-1	200	23.80	23.20	0.95	1.528	1.917	1.722	37.8	5.8		1	1	23.20	5.9	22.3	37.8		23.80										
731-3	731-3-1	730-1	200	19.60	18.70	0.95	1.937	1.876	1.906	34.5	4.6	1	1	2	18.70	4.8	21.3	34.5		19.60										
732-3	732-3-1	730-1	200	31.20	30.37	0.95	1.309	1.443	1.376	39.3	7.5	1	1	2	30.37	7.8	19.3	39.3	31.20											
642	642-1	642-2	200	31.00	30.17	0.95	1.313	1.396	1.354	38.4	7.5	1	1	2	30.17	7.7	18.5	38.4	31.00											
642	642-2	643-1	200	12.50	11.30	0.95	2.003	2.091	2.047	23.7	2.8	1	1	2	11.30	2.9	14.3	23.7		12.50										
小 計																														
総 合 計				162.10	157.21					231.2	39.0			10	157.21	40.2	125.4	231.2	106.20	55.90										

組立0号マンホール数量集計表【単独】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
組立0号マンホール	組立マンホール工	マンホール深 2m以下	3	3	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下			箇所	
		マンホール深 3m超～5m以下			箇所	
		組立0号マンホール	3	3	箇所	
	マンホール用鉄蓋	T-25 φ 600	3	3	個	
		T-25 φ 600 スリップ防止型			個	
		0号マンホール			個	H=2.00m以上
	ロック付梯子				個	
	調整金具		3	3	個	
	調整リング	組立0号マンホール 5cm	3	3	個	
		組立0号マンホール 10cm			個	
		組立0号マンホール 15cm			個	
	斜壁ブロック	組立0号マンホール 30cm			個	
		組立0号マンホール 45cm			個	
		組立0号マンホール 60cm	3	3	個	
	直壁ブロック	組立0号マンホール t=30cm			個	
		組立0号マンホール t=60cm			個	
		組立0号マンホール t=90cm			個	
		組立0号マンホール t=120cm			個	
		組立0号マンホール t=150cm			個	
		組立0号マンホール t=180cm			個	
	躯体ブロック	組立0号マンホール 60cm	3	3	個	
		組立0号マンホール 90cm			個	
		組立0号マンホール 120cm			個	
		組立0号マンホール 150cm			個	
		組立0号マンホール 180cm			個	
	底版ブロック	組立0号マンホール	3	3	個	
	削孔	φ 150mm	3	3	箇所	取付管
		φ 200mm			箇所	本管
	底部工 (1箇所当り)	基礎碎石 t=20cm RC-40	0.22	0.22	m3	
		インバートコンクリート BB-18-8-40 (高炉)	0.10	0.10	m3	
		モルタル上塗り工 1:2 t=2cm	0.53	0.53	m2	

組立1号マンホール数量集計表 【単独】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
組立1号マンホール	組立マンホール工	マンホール深 2m以下	2	2	箇所	
		マンホール深 2m超～3m以下			箇所	
		マンホール深 3m超～4m以下			箇所	
		組立1号マンホール	2	2	箇所	
	マンホール用鉄蓋	T-25 φ 600	2	2	個	
	ロック付梯子				個	H=2.00m以上
	調整金具	1号マンホール	2	2	個	
	調整リング	1号マンホール t=5cm	1	1	個	
		1号マンホール t=10cm			個	
		1号マンホール t=15cm	1	1	個	
	斜壁ブロック	1号マンホール t=30cm			個	
		1号マンホール t=45cm			個	
		1号マンホール t=60cm	2	2	個	
	直壁ブロック	1号マンホール t=30cm			個	
		1号マンホール t=60cm			個	
		1号マンホール t=90cm			個	
		1号マンホール t=120cm			個	
		1号マンホール t=150cm			個	
		1号マンホール t=180cm			個	
	躯体ブロック	1号マンホール 60cm			個	
		1号マンホール 90cm			個	
		1号マンホール 120cm	2	2	個	
		1号マンホール 150cm			個	
		1号マンホール 180cm			個	
	底版ブロック	1号マンホール	2	2	個	
	削孔	φ 150mm用			個	取付管
		φ 200mm用	4	4	箇所	本管
	底部工 (1箇所当り)	基礎砕石 t=20cm RC-40	0.29	0.29	m3	N=2箇所
		インバートコンクリート BB-18-8-40 (高炉)	0.15	0.15	m3	
		モルタル上塗り工 1:2 t=2cm	0.78	0.74	m2	
	底部工 (1箇所当り) ※インバートのみ施工	インバートコンクリート BB-18-8-40 (高炉)	0.15	0.15	m3	N=1箇所
		モルタル上塗り工 1:2 t=2cm	0.78	0.78	m2	

レジンコンクリート製小型マンホール数量集計表 【単独】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
小型マンホール工	小型マンホール設置工	レジンコンクリート製 設置深さ1.50m以下	1	1	箇所	
		レジンコンクリート製 設置深さ2.00m以下			箇所	
		レジンコンクリート製 設置深さ3.00m以下			箇所	
		合計	1	1	箇所	
	鉄蓋	レジンコンクリート製 φ300 T-25	1	1	箇所	
	調整リング	小型レジンコンクリート製 H=50	1	1	個	
	上部壁A	小型レジンコンクリート製 H=200	1	1	個	
	直壁B	小型レジンコンクリート製 H=100			個	
		小型レジンコンクリート製 H=150			個	
		小型レジンコンクリート製 H=300	1	1	個	
		小型レジンコンクリート製 H=400	1	1	個	
		小型レジンコンクリート製 H=500			個	
		小型レジンコンクリート製 H=600			個	
		小型レジンコンクリート製 H=900			個	
	管取付壁C	小型レジンコンクリート製 φ200用 H=370	1	1	個	
	底版P	小型レジンコンクリート製 H=70	1	1	個	
	アダプターセット	φ200 流入	1	1	個	
		φ200 流出	1	1	個	
	砕石基礎 (1箇所当たり)	RC-40, t=20cm	0.24	0.24	m ²	$A=1/4 \times \pi \times (0.56)^2=0.24\text{m}^2/\text{箇所}$ $A=0.24\text{m}^2 \times 1\text{箇所}=0.24\text{m}^2$

[illegible][illegible]

レジンコンクリート製 小型マンホール 員数表【単独】

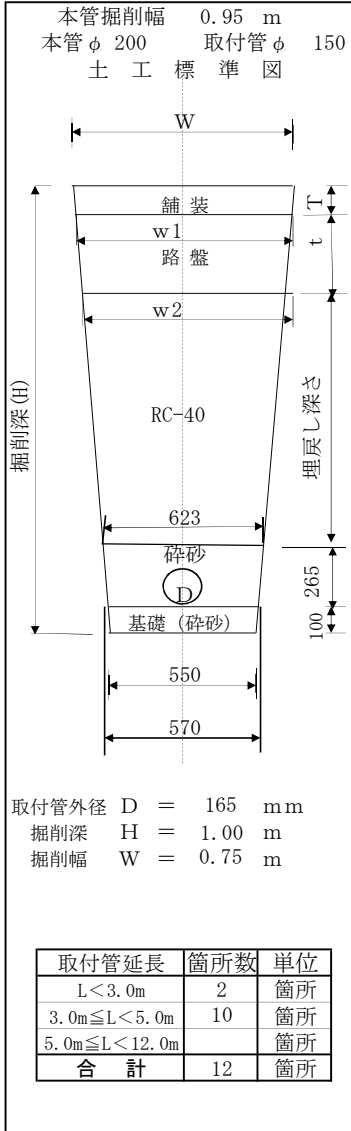
[illegible]

汚水枡および取付管 数量集計表【単独】

路線番号	取付戸数	取付総延長	掘削延長	土 工				碎石防護シート	備 考
				掘削土量	基礎材(砕砂)	埋戻し材(RC-40)	発生土処分		
	個	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	枚	
731-1, 731-3, 732-3 642路線	12	40.4	34.4	20	6.3	7.3	20	24	(BH0. 13m3)
合計	12	40.4	34.4	20.0	6.3	7.3	20.0	24	
設計数量	12	40	34	20	6	7	20	24	

取付管延長	新設路線		合計	汚水枡設置個数合計	
L<3.0m	2		2 箇所	2	箇所
3.0m≤L<5.0m	10		10 箇所	10	箇所
5.0m≤L<12.0m	0		0 箇所	0	箇所
合 計	12		12 箇所	12	箇所

汚 水 枳 取 付 管 計 算 書 【单独】

[illegible]

付帯工 数量集計表【単独】

工種	種別	細別・規格	数量	設計数量	単位	備考
舗装撤去工	舗装版切断	アスファルト舗装版, t=5cm	371.1	370	m	
	舗装版破碎	アスファルト舗装版, t=5cm	183.9	180	m ²	
	殻運搬処理	アスファルト舗装版	8.8	9	m ³	
舗装復旧工	不陸整正	補充材あり t=3cm			m ²	
		補充材なし			m ²	
	路盤工	t=27cm	183.9	184	m ²	
		t=10cm			m ²	
	表層工 (仮復旧)	再生密粒度AS13 t=3cm	183.9	184	m ²	
	(本復旧)	再生密粒度AS20F t=5cm 1.4≤b			m ²	
区画線工	区画線設置工	熔融式 白色・実線 W=15cm			m	
		熔融式 白色・破線 W=15cm			m	
		熔融式 実線・ゼブラ W=45cm			m	
		熔融式 破線 W=46cm			m	
		熔融式 矢印・記号・文字			m	
側溝撤去・設置工		側溝撤去・設置			m	

付帯工数量計算書【単独】

[illegible]

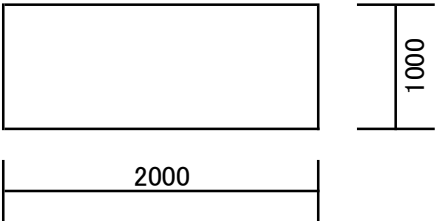
準備費

【補助工区】

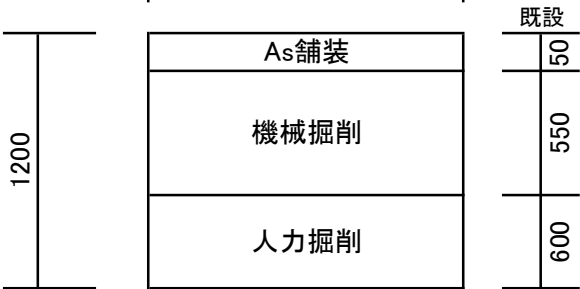
試掘工 数量計算書

1. 標準断面

平 面



断 面



【既設舗装構成】

表層工：再生密粒度As20F,t=5cm

下層路盤工：RC-40,t=25cm

【仮復旧舗装構成】

表層工：再生密粒度As13,t=3cm

下層路盤工：RC-40,t=27cm

2. 数量

工 種	規 格	数量計算	単 位	1箇所当たり	4箇所当たり
				数 量	数 量
As 切 断 工	15cm以下	$(2.0+1.0)*2$	m	6.0	24.0
As 取 壊 工	15cm以下	$2.0*1.0$	m ²	2.0	8.0
As 殻 運 搬	Dt2t	$2.0*1.0*0.05$	m ³	0.10	0.4
As 殻 処 分			m ³	0.10	0.4
機 械 掘 削 工	BH0.13m ³	$2.0*1.0*0.55$	m ³	1.1	4.4
床 掘 り	土砂,現場制約あり(人力)	$2.0*1.0*0.60$	m ³	1.2	4.8
埋 戻 工	BH0.13m ³ 、発生土	$2.0*1.0*0.9$	m ³	1.8	7.2
発生土処分工	BH0.13m ³ 、2t	$(1.1+1.2)-1.8$	m ³	0.5	2.0
路 盤 工	RC-40,t=27cm	$2.0*1.0$	m ²	2.0	8.0
仮 復 旧 工	再生密粒度As13,t=3cm	$2.0*1.0$	m ²	2.0	8.0

推進区間 試掘施工箇所

4 箇所(小型鋼製立坑 & 小型コンクリート製立坑設置箇所)

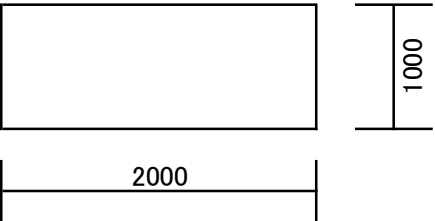
準備費

【補助工区】

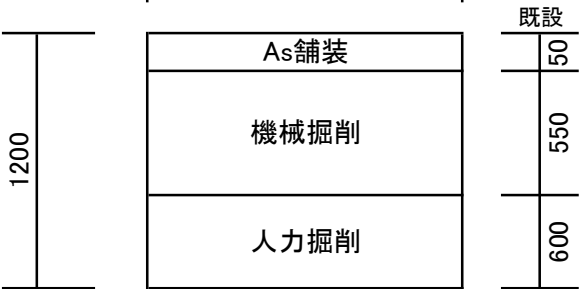
試掘工 数量計算書

1. 標準断面

平 面



断 面



【既設舗装構成】

表層工:再生密粒度As20F,t=5cm

下層路盤工:RC-40,t=25cm

【仮復旧舗装構成】

表層工:再生密粒度As13,t=3cm

下層路盤工:RC-40,t=27cm

2. 数量

工 種	規 格	数量計算	単 位	1箇所当たり	6箇所当たり
				数 量	数 量
As 切 断 工	15cm以下	$(2.0+1.0)*2$	m	6.0	36.0
As 取 壊 工	15cm以下	$2.0*1.0$	m ²	2.0	12.0
As 殻 運 搬	Dt2t	$2.0*1.0*0.05$	m ³	0.10	0.6
As 殻 処 分			m ³	0.10	0.6
機 械 掘 削 工	BH0.13m ³	$2.0*1.0*0.55$	m ³	1.1	6.6
床 掘 り	土砂,現場制約あり(人力)	$2.0*1.0*0.60$	m ³	1.2	7.2
埋 戻 工	BH0.13m ³ 、発生土	$2.0*1.0*0.9$	m ³	1.8	10.8
発生土処分工	BH0.13m ³ 、2t	$(1.1+1.2)-1.8$	m ³	0.5	3.0
路 盤 工	RC-40,t=27cm	$2.0*1.0$	m ²	2.0	12.0
仮 復 旧 工	再生密粒度As13,t=3cm	$2.0*1.0$	m ²	2.0	12.0

開削区間 試掘施工箇所

6 箇所(マンホール設置箇所)

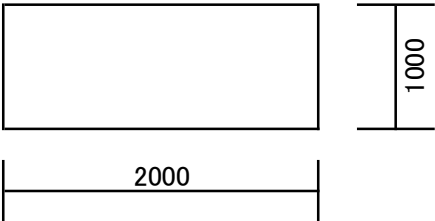
準備費

【単独工区】

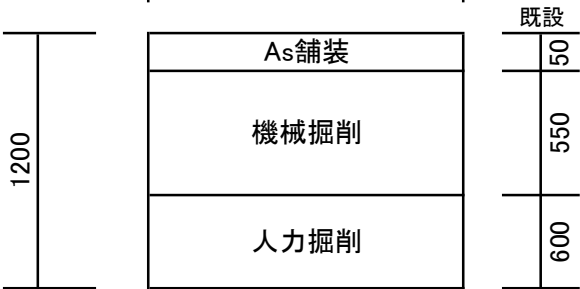
試掘工 数量計算書

1. 標準断面

平 面



断 面



【既設舗装構成】

表層工：再生密粒度As20F,t=5cm

下層路盤工：RC-40,t=25cm

【仮復旧舗装構成】

表層工：再生密粒度As13,t=3cm

下層路盤工：RC-40,t=27cm

2. 数量

工 種	規 格	数量計算	単 位	1箇所当たり	6箇所当たり
				数 量	数 量
As 切 断 工	15cm以下	$(2.0+1.0)*2$	m	6.0	36.0
As 取 壊 工	15cm以下	$2.0*1.0$	m ²	2.0	12.0
As 殼 運 搬	Dt2t	$2.0*1.0*0.05$	m ³	0.10	0.6
As 殼 処 分			m ³	0.10	0.6
機 械 掘 削 工	BH0.13m ³	$2.0*1.0*0.55$	m ³	1.1	6.6
床 掘 り	土砂,現場制約あり(人力)	$2.0*1.0*0.60$	m ³	1.2	7.2
埋 戻 工	BH0.13m ³ 、発生土	$2.0*1.0*0.9$	m ³	1.8	10.8
発生土処分工	BH0.13m ³ 、2t	$(1.1+1.2)-1.8$	m ³	0.5	3.0
路 盤 工	RC-40,t=27cm	$2.0*1.0$	m ²	2.0	12.0
仮 復 旧 工	再生密粒度As13,t=3cm	$2.0*1.0$	m ²	2.0	12.0

開削区間 試掘施工箇所

6 箇所(マンホール設置箇所)

【補助】

家屋調査数量

●工事前調査

名称	規格	数量(棟)	備考
		当初	
工作物	100㎡未満	2	
計		2	

【单独】

家屋調査数量

●工事前調査

名称	規格	数量(棟)	備考
		当初	
工作物	100㎡未満	3	
計		3	